

飼料の違いがカタクチイワシの親魚養成と産卵成績 ，仔魚に及ぼす影響

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-08-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 松田, 圭史, 橋本, 博, 木村, 拓人, 伏島, 一平, 増田, 賢嗣, 神保, 忠雄, 今泉, 均 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010532

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution 4.0 International License.



飼料の違いがカタチイワシの親魚養成と産卵成績、仔魚に及ぼす影響

松田圭史・橋本 博・木村拓人・伏島一平・増田賢嗣・
神保忠雄・今泉 均

カタチイワシの親魚養成に適切な餌を調べるため、栄養価と価格の異なる配合飼料ニューアルテック K4 (1,230 円/kg: 飼料 A)、モジャコ EP0 (653 円/kg: 飼料 B)、いわし大漁 A (290 円/kg: 飼料 C) を用いて親魚養成を行い、親魚への影響と産卵成績、仔魚への影響について比較した。飼料 C は他の飼料に比べて、親魚の成長と肥満度が劣った。飼料の違いによる卵体積に差は認められなかったが、合計産卵数は飼料 C より飼料 A を与えた試験区で多かった。飼料の違いによる孵化仔魚の全長、湿重量、乾燥重量、無給餌生存指数の差は認められなかった。これらの結果と飼料単価を考慮すると、親魚養成の飼料には費用対効果に優れるモジャコ EP0 が適当であると考えられた。

水産技術, 6 (2), 139-146, 2014